

聞いてみんな、来てみんな

We are 江田島語り隊！

本単元と関連する9年間で育成する資質・能力

伝え合う力

日時：令和5年11月17日（金）11:00～11:50

1 指導の方向性について

○単元観

【1学年テーマ 地域を語る】

江田島市は、広島県南部に位置する人口約21,000人の島嶼部である。江田島市には特色ある産業や雄大な自然にあふれており、多くの魅力に触れることができる島である。

しかしながら、過疎化、少子高齢化、市内における公共交通機関の利便性等の問題もある。これらの問題に目を向けつつも、江田島ならではの良さや魅力に目を向けさせ、新たな魅力に気付かせることで、郷土についての理解を深めることをねらう。

本単元では、地域の特色や魅力を体験を通して江田島の良さを理解し、生徒一人一人が自分の故郷江田島について語ることを通して江田島の現在や将来について考え、愛する郷土を語り合える態度を育てたい。

○生徒観（第1学年 47名）

【生徒の実態】

本学年の生徒は、これまで生活科・総合的な学習の時間を通して、地域の自然・環境・歴史・産業・福祉など、幅広い資源から課題を立て、探究的な学習を行い、そこから学んだことを発見・発信する活動を行ってきた。

そのため「江田島について知っていることは？」と尋ねられると、地域に身近な食べ物やお店を答えることができる生徒は多い。しかし、そのことについて深く問うと、ほとんどの生徒は表面的なことや小学校区内のことは答えることができるが、江田島全体の良さや魅力を語るることができる生徒は少ない。

【9年間で育成する資質・能力と関連する実態】

「伝え合う力」…「授業では、自分の考えを積極的に伝えている」、「自分の考えを場面や状況に合わせて、分かりやすく伝えるよう、資料や文章、話の組立などを工夫している」という項目に対し、約60%の生徒が肯定的に捉えているが、ともに約40%の生徒が否定的回答である。このことから、自分の考えをもち、積極的に議論しようとする生徒は増えつつあるが、それを「効果的に伝えるための表現の工夫」に課題がある。

○指導観

【本単元における指導の方向性】

- 単元を通した問いとして、「江田島の良さを実感してもらうために、自分たちは江田島をどのように語ればよいか。」を設定し、これまでの学習について、違う小学校区同士で交流させ、まだ知っているようで知らない魅力が江田島市にはまだまだたくさんあることに気付かせる。そして、校区内外を問わず、江田島市の産業、歴史、自然に関するさまざまな体験活動や人との交流を行い、実際に自分で見聞きし体験することで、江田島市の魅力を理解させ、語れるようにさせる。また、「江田島市のことを誰に語れば効果的だろうか。」ということを考えさせ、これから江田島市に来る予定がある人に語れば効果的だということに気付かせる。今回は、江田島市に民泊に来る県外の中学生に焦点を当て、民泊に来る中学生が、江田島市のことを事前に学習する際に、生徒が江田島市について語ることで、「江田島市を語る」活動が意味のあるものになるようにする。その前段階として、民泊を受け入れる家庭とも連携を図り、民泊家庭の方に、民泊に来る中学生に語ろうとしていることを聞いてもらい、助言等をいただく。そうすることで、民泊に来る中学生に語る内容をより意味のあるものにさせたい。さまざまな人たちと交流する中で、江田島の良さや魅力について感じるような発信を実現させるとともに、自分たちの住む地域に誇りをもち、一人一人が地域のことを語れるようにさせたい。
- 探究的な学びを実現するために次の三点に留意して指導する。
 - ①本質的な問い「郷土を愛するとは。」を主軸にした探究のサイクル
「課題の設定」→「情報の収集」→「情報の整理・分析」→「表現・まとめ」の探究のサイクルを常に回しながら生徒自身が次の課題設定ができるように支援する。
 - ②見通しのある学習計画
学習計画表を用いて、長期の学習内容の計画を立てさせることで生徒に見通しをもった学習活動をさせる。また、振り返りシートを活用し、課題に対して自分ができたことやできなかったことを整理させることで次の学習で自分がしなければならないことの見通しをもたせる。
 - ③学習体制の多様化
生徒の主体的で深い学びに繋がるように、個人の活動とペアやグループ活動を効果的に組み合わせるようにする。

2 小・中9年間で育成したい資質・能力

| | 前期 (小1～小4) | 中期 (小5～中1) | 後期 (中2～中3) |
|-------------------------------|--|---|---|
| 主体性 □やる気 □自主性 □課題発見力 | 自ら目標を設定し、その達成に向けて考え、判断し、探究活動に取り組もうとしている。 | | |
| | 身近な人・もの・ことに進んで関わり、意欲をもって学習したり生活したりすることができる。 | 課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動している。 | 課題を解決するために、自分から進んで、身近な人と協力しながら行動するとともに、解決への見通しをもち、他者の考えを受け入れ、よりよい解決を目指している。 |
| 伝え合う力 □表現力 □傾聴力 □対話力 | 探究的な活動を通して、異なる意見や他者の意見を受け入れ尊重し、協働して新たな価値を生み出そうとしている。 | | |
| | 自分の考えや思いを、言葉・絵・動作・劇・資料によって、相手に伝えたり、自分の学習を振り返ったりすることができる。 | 伝える内容が、相手に分かりやすく伝わるように、目的に応じて資料を作ったり、複数の資料を組み合わせたりして表現することができる。 | 目的や相手に応じて、伝える内容を吟味したり、資料を再構成したりして、根拠を明確にして適切に表現することができる。 |

3 単元の目標と評価基準

| 単元の目標 | | |
|--|--|---|
| 「江田島の良さを実感してもらうために、自分たちは江田島をどのように語ればよいか。」を問い続けることを通して、地域の特色や良さについて理解する。また、知識や体験から学び、得た情報を比較・整理・分析し、意味のある発信を行うことで、故郷である江田島市の今や将来について考え、主体的に行動しようとする。 | | |
| 単元の評価規準 | | |
| (1) 知識・技能 | (2) 思考・判断・表現 | (3) 主体的に学習に取り組む態度 |
| ① 江田島市の特色やよさ、それに関わる人々の願いや思いを理解している。 ② 江田島市で活動している人や江田島市の自然に触れる体験活動などを目的に応じて適切な方法で実施している。 ③ 江田島市のよさを伝えるために、様々な立場や視点で考えることや、情報発信が大切であることなどを理解している。 | ① 江田島市のひと、もの、こととの関わりを通して、民泊の活性化に向けた課題を見付け、解決に見通しをもっている。 ② 江田島市の民泊を活性化するための課題解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集し、目的や種類に合わせて蓄積している。 ③ 江田島市の民泊の活性化に向けて、目的に応じて整理・分析し、具体的な取組を考えている。 ④ 江田島市に民泊に来る相手や民泊を活性化するという目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現している。 | ① 江田島市の民泊の活性化に向け、江田島の特色や良さを理解し、班活動では役割を意識して探究活動に進んで取り組もうとしている。 ② 江田島市の民泊の活性化について考える中で、自他の意見の考えのよさを生かしながら課題解決に向け、協働して学び合おうとしている。 ③ 江田島市で活動している人や民泊家庭の方との関わりの中で自己の生き方を考え、自分で見つけようとしている。 |

4 本単元に関する「本質的な問い」について

【本質的な問い】(何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」)
郷土を愛するとは。



【単元を貫く問い】(単元を通して考え深めていく「問い」)
江田島の良さを実感してもらうために、自分たちは江田島をどのように語ればよいか。



【個別の問い】(授業内で身に付ける知識・技能等)
 ○江田島ってどんなところだろうか。 ○江田島の良さとは。
 ○江田島に住んでいる大人は江田島のことをどう思っているか。
 ○江田島を語れる人って誰がいるだろうか。
 ○江田島のことを誰に語れば効果的だろうか。

5 単元構想図 (全 44 時間)

単元名 **聞いてみんさい、来てみんさい We are 江田島語り隊!**

江田島市の将来のために、今の自分(たち)にできることは。

道徳
「震災を乗り越えて-復活した」

道徳
「「肝心」のバスのガイド」

国語
「情報を整理して書こう」

社会
「産業から見た日本の特色」

国語
「話の構成を工夫しよう」

国語
「聞き上手になろう」

国語
「話題や展開を捉えて話し合おう」

国語
「助言を自分の文章に生かそう」

Part1 「知る・分かる」 PROJECT① 『江田島の魅力を広く知ろう』

課題設定 評価の観点：(2)①
 ○小学校の総合的な学習の時間を振り返り、まだ学習していない江田島の魅力を挙げる。
 ○江田島の魅力を、効果的に発信するための計画を立てる。

情報の収集 評価の観点：(1)②
 ○江田島の魅力を直接見に行ったり施設に見学に行ったりする。
 ○江田島を活性化させるために活動している人に話を聞く。

整理・分析 評価の観点：(3)①
 ○誰に語ればよいか考える。
 ○江田島の魅力を「食」、「自然」、「歴史」、「特産・農業」、「伝統・文化」の5つのグループに分ける。

まとめ・表現 評価の観点：(2)④
 ○江田島の魅力について、スライド等を活用しながらまとめる。

Part2 「つなげる・深める」 PROJECT② 『江田島の魅力を語ろう』

課題設定 評価の観点：(1)③
 ○江田島に民泊に来る中学生に何をどのように語るか計画を立てる。

情報の収集 評価の観点：(1)②
 ○民泊家庭の方に民泊に来る中学生に何を伝えてほしいかという意見や、民泊家庭の方の悩みなどを聞く。

整理・分析 評価の観点：(2)③
 ○「江田島の魅力」について、民泊に来る中学生が興味をもてるような視点で整理する。

まとめ・表現 評価の観点：(1)③
 ○民泊に来る中学生が事前学習をするタイミングで、「江田島の魅力」について、リモート交流で語る。

Part3 「広げる・生かす」 PROJECT③ 『江田島の魅力を発信し続けよう』

課題設定 評価の観点：(3)②、③
 ○民泊家庭に向けて、「江田島の魅力」を生かしてできることを考え、実現に向けて計画を立てる。

情報の収集 評価の観点：(2)②
 ○民泊家庭の方や市役所から、江田島の魅力を発信するときに必要になる情報を収集する。

整理・分析 評価の観点：(2)③
 ○民泊をより良いものにするために、民泊家庭の方の悩みや困っていることに対して、自分たちができることを整理する。

まとめ・表現 評価の観点：(1)③
 ○民泊をより良いものにするための自分たちの考えを、民泊家庭の方に語る。
 ○「江田島の現状と課題」の学習の成果を元に、自分と江田島との関わりについての変化や、自分自身の成長について振り返る。

本時

単元のゴール 江田島市の活性化のために、江田島市の魅力を発信する。

6 本時の展開 (40/44 時間)

(1) 本時の目標

江田島市の民泊の活性化に向けて、目的に応じて整理・分析し、具体的な取組を考える。

(思考・判断・表現③)

(2) 学習展開

| | 生徒の学習活動 ○発問 ・予想される生徒の反応 | ・指導上の留意点 ●評価 |
|--|--|--|
| 導入 | <p>1 前時の確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今自分のグループで考えているアイデアを、グループで確認しましょう。 ○ 今日は自分たちのグループで出たアイデアを他のグループに聞いてもらって、意見や感想をもらい、アイデアを改善する時間にしていきましょう。 | |
| <p>めあて 民泊中に家庭で楽しめるゲームのアイデアを他班と交流し、よりよいものにしよう。</p> | | |
| 展開 | <p>2 考えたアイデアを説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループの中で説明する人と、他のグループに聞きに行く人に分かれて、意見交流をしましょう。 ・すごろくでは、江田島の有名な施設をもっと増やして観光した気分になるようにしたらどうかな。 ・神経衰弱では、自分達の思いや経験を入れて江田島らしさを出したらどうかな。 <p>3 もらった意見をもとに、改善する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループでもらったアドバイスを、グループで共有しましょう。 ○ アドバイスをもとに、今考えているアイデアを改善していきましょう。 ・江田島らしいアイデアをもっと出して、色んな面から楽しめるものにしよう。 ・江田島に関する写真やイラストをそろえていく神経衰弱にしよう。 <p>4 もらった意見と改善した内容を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ もらった意見と、それによって改善できたところを発表しよう。 ・すごろくでは、ハジマリノテラスから第一術科学校まで新旧の観光スポットを入れて江田島をより知ってもらえるようにしました。 ・自分たちの思いや経験があるとよいという意見ももらったので、神経衰弱では実際に体験したときのイラスト写真を使って、私たちにしかできないゲームにしようと思います。 | <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループに聞きに行く人は、感想や改善案を1つは伝えるよう助言をする。 ・グループの中で説明する人は、進捗状況や展望を踏まえて、説明させる。 ・もらった感想や改善案はメモを取るように、声掛けをする。 ・困っている点があれば、聞きに来た人に助言を求めるよう伝える。 <p>●江田島市の民泊の活性化に向けて、目的に応じて整理・分析し、具体的な取組を考えている。(思考・判断・表現③)</p> |
| 振り返り | <p>5 アイディアの実現に向けて、次時の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今日の学習を振り返り、次時の目標をグループで設定しましょう。 ・意見をもとに改善することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後の授業での流れを簡単に説明し、これからの活動の見通しをもたせる。 ・今日できたことと、次にすべきことを明確に書くように、声掛けをする。 |

(3) 本時のルーブリック

| | |
|----|---|
| 目標 | 江田島市の民泊の活性化に向けて、目的に応じて整理・分析し、具体的な取組を考える。 |
| A | 目的に応じて、自分たちの考えにいかせそうな情報を取捨選択し、成果物を改善している。 |
| B | 目的に応じて、情報を取捨選択し、成果物を改善している。 |

(4) 板書計画

めあて 民泊中に家庭で楽しめるゲームのアイデアを他班と交流し、よりよいものにしよう。

ホストファミリーの悩みや困っていること

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |

| | | |
|--|--|--|
| | | |
| | | |

相洋中学校の民泊の様子や、民泊家庭の方の写真など